

NEW

『就職活動プログラム』の続編「6章 求人情報を探す」を追加リリース！

プログラム概要

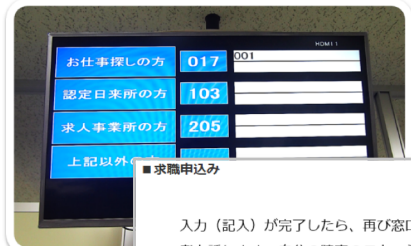

- ◆ 実り多き就職活動のために欠かせないポイントの1つである「求人情報を探す」ことを体系的にご紹介します
- ◆ 求人媒体/雇用形態の種類についても触れ、考慮すべき要点を提示することで、効率的な求人情報探しのサポートをします
- ◆ ハローワークや求人検索サイトの使い方を解説。イメージを膨らませて、実際の行動に移す際の心理的ハードルを下げます

<レッスン画面例>

■受付

中に入って、自分の番号が画面に表示されるのを待ちます。
(音声案内もあります)

番号の呼び出しがあったら、窓口へ行き、求職申込み手続きを開始します。


■求職申込み

入力（記入）が完了したら、再び窓口へ行き、職業紹介に必要なことを、担当者と話します。自分の障害のこと、希望の条件などを伝えましょう。

このとき、「自己理解ができているか（＝自分の症状の特性を理解しており、配慮事項を適切に伝えられるか）」ということが重要視されます。

また、ハローワークには、求人者（企業）に対して、適任だと思われる人を紹介する責任があります。

このため、「症状が安定し、就労が可能な状態にある」ことを確認するために、ほとんどの場合、「主治医の意見書」を提出することを求められます（相談2回自以降に持参でOK）。



ハローワークの仕組みを写真付きで分かりやすく！

■求人検索エンジン「indeed」

「求人検索結果 〇件」と出てきました。さらにしぼりこむには、左側の検索条件で、「推定年収」や「雇用形態」を追加したり、また、右側の「検索オプション」をクリックし、いろいろな条件を追加して検索することもできます。



検索オプション

検索条件を追加できる

は、実は、内定後交渉できることが少なくありません。

エントリーのときは、マスト条件だけで検討し、ウォント条件は内定を得てから交渉、と考えておくのもよいでしょう。

ウォント条件



求人検索サイトの使い方や、求人探しのコツをご紹介します！